



桂川っ子

VOL.1

「地域の皆様方へ」



桂川町教育委員会
 教育長 佐谷千香子

今まさに春たけなわ。

子どもたちは、入学や進級に胸を膨らませています。

しかし、核家族化・少子化の進む中、児童生徒の健全育成のためには、学校だけではなく、地域社会や家庭との連携が不可欠になってきました。

そのためには、町民の皆様にも、「教育」について更に関心を高めていただき、同時に桂川町の教育についてよく知っていただくことが大切だと思います。もともと、家庭教育が最も大切であることは言うまでもありませんが・・・

そこで、本年度から、広報「けいせん」に教育委員会が中心となりな

がら、教育委員会の取組や学校で行われている教育について、毎月紹介することになりました。

また、現在の教育問題や教育情報等についても広くお伝えし、皆様方のご協力が得られるよう努力していきたくと考えています。

「地域の子どもは地域で育てる！」をあい言葉に、お互い手と手を取り合って、子どもたちの成長を見届けたいと思います。

「人に迷惑をかけない」「してよいこと、悪いことの判断ができる」「自分の将来に対して夢や希望を持つて努力できる」子どもたちを、皆さんの手で育てていこうではありませんか。

桂川町の皆様、本町の教育についてよろしくご理解いただくとともに、今後も一層のご協力をお願いします。



生徒指導総合連携推進事業を終えて

教育長 佐谷千香子

本町は2年間にわたり、国立教育政策研究所の研究委嘱を受け、生徒指導総合連携推進事業に取り組んできました。

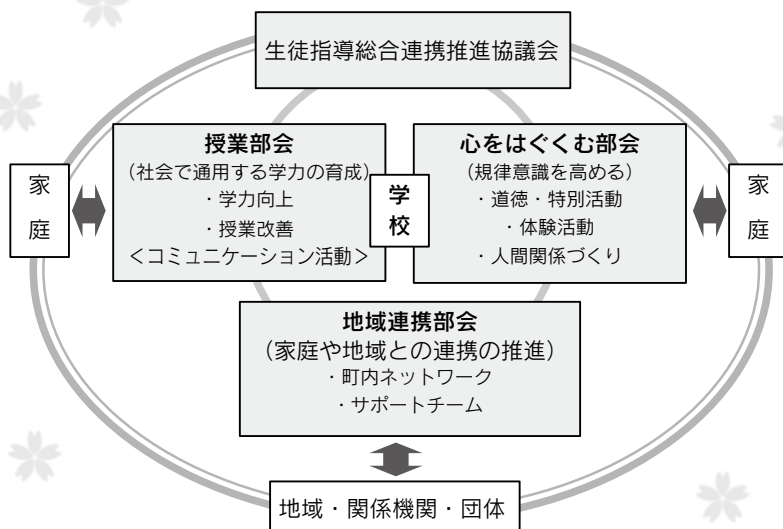
本事業は、学校、家庭・地域、関係機関や団体等が協力し合い「心豊かであくましい桂川の子ども」を育てていくための取組や連携の在り方を研究・実践していくものでした。

確かな学力の向上と豊かな心を育むために、学校が中心となりながらも、家庭や地域に対して情報を発信したり、共通認識のもとで児童生徒の教育にあたろうと努力しました。また、関係機関や団体等とも、情報連携・行動連携を行いながら、健全育成のための取組を推進してきました。

その結果、まだまだ十分とは言えませんが、児童生徒は以前と比較して落ち着いた状況で学校生活を送れるようになってきました。

この本町独自の取組については、全国に紹介され、評価されるほどになりました。

本事業は終了しますが、「心豊かであくましい桂川の子ども」を育成するためには、まだまだ課題があり、



それらを解決していくためには、町全体で教育を盛り上げていくという大きな波を作る必要があります。2年間の成果と課題を十分に検討し、新事業の内容・取組に生かしていきたいと思えます。

今後も変わらぬご協力をお願いします。